

2月3日

現代写真研究所 オンライン特別公開講座

フォトジャーナリスト中村梧郎「記者狙撃 ベトナム戦争とウクライナ」

## イベント詳細

現研副所長・フォトジャーナリズム専科担当・中村梧郎氏が昨秋花伝社より『記者狙撃／ベトナム戦争とウクライナ』を刊行しました。オンライン講座は約2年ぶりの登場です。

中越戦争を取材した際に自らにおこった出来事を40年以上にわたり複雑な感情を抱えつつ過ごしてきた日々を振り返りながら、執筆された「記者狙撃 ベトナム戦争とウクライナ」を語っていただきます。

中村梧郎氏より

「45年前の中越戦争（中国軍によるベトナム侵略）。ご記憶でしょうか。当時その戦場を私は取材しました。そこで私と位置を替えた記者が中国軍の狙撃で殺されました。高野功赤旗特派員です。ご遺族の手前、当時は話せなかったことも含め、皆が生きているうちに、詳細を記しました。折しもウクライナをロシアが侵略しています。米国や中国、侵略する側の手口は共通です。その比較も試みました。写真とともにご紹介します」



中村梧郎プロフィール

フォトジャーナリスト。1940年生まれ。1970年以降ベトナム戦争を取材。戦後は枯葉剤問題も追及。1999年～2004年岐阜大学地域科学部教授（ジャーナリズム論・環境文化論）。

現在 JCI代表委員。日本写真家協会会友。現代写真研究所副所長

開催日：2024年2月3日（土）午後2時～4時

Zoomを使って、オンラインで講座をおこないます。当日ご視聴が難しい方は、後日アーカイブ動画をご視聴いただけます。

参加費：1,000円

お問合せ：現代写真研究所事務局(山本)

jimukyoku@genken.ac